



ひかり

No.4

平成27年6月30日
千代田区立麹町小学校
校長 山田 茂利
URL <http://www.kojimachi-e.ed.jp/>

梅雨の晴れ間、校庭から子供たちの元気な声が聞こえてきます。

過日は学校公開にご来校賜りありがとうございました。子供たちの一日一日の積み重ねの様子をご覧いただけたと存じます。1学期もまとめの時期になりました。この後各学年・学級では学んできた内容を確認し、成長を認め、課題を明らかにして夏休みを迎えられるように指導してまいります。

さて、6月の学校だよりでお話した「思いやり（ふれあい）月間」の趣旨に関連するお話を、以前、羽衣国際大学教授の J. A. T. D. にしゃんた さんからお聞きする機会があり、そのお話の中で次のことが心に残っていますのでご紹介いたします。（にしゃんた さんは、日本国籍を取得したスリランカの方です。）

それは、「日本には多文化を妨げる3つの壁、『言葉の壁』『制度の壁』『心の壁』があり、この壁は昇り合える階段にしていかなければならない」というお話と、「いろいろな違い（文化）に気づき、理解し、さらには違いを楽しみ、力に変えることが大切だ」とお話しされていたことです。

私はこのお話を聞いた時、私が大切にしている本校の指針でもある「3つのつながりを大切にする」ことについて、次のことを思い浮かべました。『手と手（人と人）のつながり』『言葉のつながり』『心のつながり』は、子供たちにとって『壁』なのかな？と・・・。

そして、その時瞬時に「いえ、そうではない。“3つのつながり”は、子供たちにとって自分を高めていく目標なのだ。」と、私は改めて強く心に思いました。そのことは、本校でも思いやり月間に子供たちがカタツムリの用紙に書いた目標（内容）を見るとよく分かります。（学校公開の日にご覧いただきましたが、次にそのいくつかをご紹介いたします。）

「みんなと遊びます。」「いろいろな友達に遊ぼうとさそいます。」「一人で遊んでいる子と遊びます。」

「その人の気持ちになってみます。」「みんなの思いやりにたくさん気付きます。」「けんかをしたら自分からあやまります。」「友達がいやなことはしません。」「友達が聞いてうれしくない言葉は言いません。」「間違っている友達には注意します。」「きちんと挨拶をします。」「友達にやさしく親切にします。」

「優しい言葉をかけます。」「困っている人がいたら助けます。」「友達にやさしく、温かい言葉をかけます。」「友達の気持ちがわかるように気をつけます。」「友達の気持ちを考えて行動します。」 など

子供たちは、3つのつながりの難しさをわかっています。わかっているからこそ友達とよりよく生活しようとして自分にあつた目標をもつことができるのだと思います。私たち大人も、この難しさを認め、よりよく生きていくためにという視点で自分を見つめ、子供たちと接していかなければならないのではないのでしょうか。

そう言えば にしゃんた さんは、次のようにお話をされていました。

「他者と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。」と・・・

夏季休業中の工事について

夏季休業中に次の工事を行います。（7月の学級保護者会において、学年に係ることについては担任から補足してお話いたします。）なお、これら3つの工事に伴い何かとご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 麴町小学校児童増に伴う今後の教室対応について（その2）

○図書室を普通教室に改装する。

○図書室機能の維持のための手立てを講じる。

・貸し出し：新設の閲覧スペースの廊下側に、貸し出しカウンターを置きます。

・閲覧場所：平成28年3月までは、普通教室にした元閲覧場所と新設の閲覧場所を使います。

なお、平成28年4月からは、新設の閲覧場所だけとなります。

・本の置き場所：2階・3階廊下に書棚を設置します。

○2階普通教室の環境改善のため、オープンスペースの一部に仕切りをつける。

〔理由〕隣接する教室の授業にかかわる影響の緩和 等

※〔平成28年度夏の工事（検討中）〕

2教室の改築及び改装場所は2階を予定。（詳細が決まりしだいご連絡いたします。）

2 特別支援教室の工事について

○3階の北側のスペースを特別支援教室に改装する。

3 エレベーターの改修工事について

○A号機、B号機を改修する。

4 西門等のネットの設置について

○ボール等が校庭から道路に出ないようにするとともに不審者対応もかねてネットを設置する。

麴町小学校の特別支援教育について（お知らせ）

子供たちの中には、集団（一斉指導）の中では学習や生活、友達とのかかわりなどがうまくいかない子供がいます。教員は日々、この子供たちにはどのような指導や支援が必要かを探りながら教育活動に当たっています。

特別支援教育は、このような子供たちの具体的な対応について、組織的に検討し計画を立て、子供たちが楽しく学校生活を送ることができるようにしていくことを目的としています。そして、そのために、保護者の方と相談しながら個別の計画を作成することも必要です。

また、周りの方々（大人も子供）もそのことを理解し、見守ったり、支援したりすることが大切です。

千代田区では、次年度から全学校に特別支援教室を開設します。〔詳しくは後日区教育委員会からお知らせいたします特別支援教室に関するリーフレットをご覧ください。〕

そこで、麴町小学校では、配慮が必要な子供たちへの教育支援を先行して実施していきます。今号では、その取り組みをご紹介します、地域全体が特別支援教育についての理解を深め、教育支援を進めやすい環境をつくっていききたいと思います。

【教育支援について】

1 教育相談

子供のことで気になることがございましたら学校（担任）にご相談ください。

また、臨床心理士である発達支援アドバイザー、都・区スクールカウンセラーの3名が子供に関する様々なお悩みや気になることなどについてご相談をお受けします。面談を希望される場合は、予め担任にご連絡ください。

2 校内体制

(1) 児童理解

○校内委員会を設置しています。委員会は、校長、副校長、特別支援教育コーディネーター、生活指導主任、保健主任、養護教諭、教育相談主任、発達支援アドバイザー、都・区スクールカウンセラーで構成し、児童の実態把握や支援について検討しています。

○特別支援全体会で共通理解を図り指導に当たっています。

(2) 支援

① 全学年対象（すでに実施しています）

「支援員」「スクールライフ・サポーター」「学生ボランティア」による児童の生活習慣の定着や学習指導等における支援を行っています。

② 個別指導計画を作成した児童についての学習面での支援（個別指導：新たな取り組み）

- ・いつ→担任と相談して始めます。
- ・誰が→講師、支援員等が指導に当たります。
- ・場所→ほっとルーム（特別支援教室）夏季休業中に工事が終わるので、その教室を使います。
- ・内容→国語や算数の基礎基本的な内容や個別の課題について学習します。

【上記②についての今後の予定】

○随時、面談等でご相談をお受けします。また、気に掛かることがある児童については学校からお話をいたします。その中で、上記②の支援を行う場合は、保護者の方と相談し個別の計画を作成します。また、児童にも説明します。

*「個別指導計画」：通常の学級において、行動面や学習面で特別な支援が必要な児童の状況等に
応じて指導を行うために、学校が保護者の方の協力を得て作成する計画です。

○準備ができしだい取り組みます。

○ご相談はいつでもお受けします。

休み時間について【その2】（お知らせ）

6月の学校便りでお知らせしましたように、児童の安全のため、7月から休み時間の校庭での遊び方を次のように改善します。（詳しくは7月の学級保護者会でお話いたします。）

1 中休み

4つの学年までが校庭で遊ぶようにします。そのため、次の学年は校舎内での休み時間とします。

月	火	水	木	金
1年	4・5年	2年	6年	3年

2 昼休み

○「掃除→昼休み」の学年〔2階フロア（1年生、2年生、4年生）〕と、
「昼休み→掃除」の学年〔3階フロア（3年生、5年生、6年生）〕に分けて校庭で遊ぶようにします。*水曜日は2階・3階隔週で校庭で遊ぶようにします。

○時程

～10:15	2校時終了まで今まで通り	
10:15～10:30	中休み	
10:35～11:20	3校時	
11:25～12:10	4校時	
12:10～12:55	給食	【水曜日】
13:05～13:20	2階フロア 掃除 / 3階フロア 昼休み	昼休み 13:05～13:20
13:20～13:25	(入れ替え)	
13:25～13:40	2階フロア 昼休み / 3階フロア 掃除	5校時 13:25～14:10
13:45～	5校時開始から下校まで今まで通り	下校 14:30

【補足】体育館遊びが割り当てられている学年は、今まで通り校庭遊びをしません。

スクールライフ・サポーターについて（お知らせ）

矢作信夫スクールライフ・サポーターが6月末で退職します。今まで子供たちのためにありがとうございました。なお、5月28日から清水美和スクールライフ・サポーターが新規採用で勤務しています。

6月の学校公開・道徳授業地区公開講座アンケートについて

6月12日・13日に実施いたしました学校公開及び道徳授業地区公開講座では、アンケートにご協

力いただきありがとうございました。学年や学級に対する内容がほとんどであり、高い評価をいただきました。なお、ご意見等については、今後の授業改善等に役立させていただきます。

また、学年や学級に関することとお話が必要なことについては、7月に行われます学級保護者会でご説明させていただき、学校全体に関するご意見等については、次にお話しいたします。

※図書室の維持についてご意見をいただきました。教育委員会にお伝えします。

○隣接する教室の授業にかかわる影響についてご意見をいただきました。(6名)

→2階普通教室の環境改善のため、オープンスペースの一部に仕切りをつけるなどの対応を計画しています。

○公開日時について、「高学年と低学年を分けて実施する。(1名)」「幼稚園と違う日にする。(1名)」「時間を短くする。(1名)」というご意見をいただきました。

→2日間行うこと、幼稚園と小学校を一緒に開催することについて評価をいただいていますので、この開催方法についてご理解ください。

○休み時間の遊び方(1名)、配慮が必要な児童についての教育(1名)についてご意見をいただきました。

→2つのことについては、本号でお知らせしていますように現在改善を進めています。

○「年間行事予定の配布時期(1名)」「入校時のセキュリティー(1名)」「意見箱の設置(1名)」についてご意見をいただきました。

→ご意見として承りました。なお、学校へお話がございましたら担任にご連絡ください。

○道徳授業地区公開講座について多くの方々に評価いただきましたが、内容や時間等についてご意見もいただきました。次年度計画する際、参考にさせていただきます。

箱根移動教室

6年生担任 佐藤雄介・飯塚芳幸

6年生は、6月2日(火)から4日(木)まで、箱根移動教室に行ってきました。初夏を感じさせる清々しい気候の中、箱根の雄大な自然などを楽しみ、また歴史について学びました。

1日目の箱根関所の見学は、歴史の学習が始まっている6年生にとって、「なぜこの地に？」という時代背景などを考えるきっかけとなり、これからの学習に大いに役立つ見学になりました。2日目は雨天のため、マスタかみ体験は出来ませんでしたが、「森のふれあい館」で木の実クラフト作りと「かまぼこ博物館」でちくわ作り、「本間美術館」で寄木細工体験をして、この地の伝統等について学ぶことができました。3日目は小田原城の見学をし、歴史について学びを深めることができました。この3日間、子供たちは今まで培ってきた「学び」を生かし、そして自分たちで考えて行動することができました。

さらに、子供たちにとって「友達との協力」「お世話になった人への感謝」「時間を考えての集団行動」等、様々なことを学ぶことができた、充実した移動教室となりました。



【箱根旧街道(石畳)ハイキング】

外国語活動・国際理解教育について

外国語活動・国際理解教育担当 新谷 和彦

2020年に東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、日本全体で外国語に対する関心が高まっています。また、学校における外国語(英語)教育もより重視されてきています。

本校では、担任とALTのM a g a n a (マガニャ)先生とのチームティーチングで、5・6年生は年間35時間「外国語活動」を行い、3・4年生は年間18時間、1・2年生は年間6時間の「英語に親しむ活動」を行っています。

小学校の外国語活動・国際理解教育は、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することを目標にして様々な活動を行っています。麴町小学校もこの目標達成のため、引き続き国際社会の中で強く生きる子供たちを育成することも視野に入れて教育活動を進めていきます。